



学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

朝夕は冷え込むようになりましたが、日中は暖かく(時には汗ばむほどですね)爽やかで過ごしやすい季節になりました。読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、実りの秋、学びの秋!「学びの栄養素」や「確かな成長への糧」を十分に吸収し、健康で、心豊かに、自分を大きく確実に伸ばす時期としたいものです。

一ヵ月後の12月6日(日)には、本校最後の「学習発表会」も控えています。先日、子ども達は児童会の代表委員会において、その「学習発表会」に関する話し合いも行ない、スローガンを決めたり、各係分担などを決めました。また、各学年共に、発表内容に関する学習にも取り組み始めています。各学年としての目的と目標、そして、10名の子ども達、一人一人の目的と目標を持って取り組ませていきたいと思ひます。

『目的』と『目標』の違いとは・・・



「目的」と「目標」を持って取り組もうということは、これまでも度々話してきました。(後期の始業式でも話しました。)良い成果、良い結果を求めるには、目的と目標、その違いを意識して取り組む必要があります。

※ 以下の内容は、以前何かで目にして記録しておいたものからの抜粋です。

(1) 「目標」は『目的』のためにある。



「目標」とは、「目的」を達成するためのステップです。「目的」を達成するために目指すべき行動や、その道筋を示したものが「目標」。従って「目的」がないのに「目標」があることはありません。

(2) 『目的』は抽象的に、「目標」は具体的に

「目的」は例えば「笑顔を目指す」とか、「世界平和」など概念的なものでもいいのです。しかし、「目標」は「目的」を叶えるための道標となるので「具体的に、達成できる手段や方法」が分かるものである必要があります。



(3) 『目的』は『見たいもの』、「目標」は「見えるもの」

目標は目的に向かう「道標」なので、目標に向かって「どう行動したら良いのか」がわかるものでなければなりません。そして、その「目標」に到達することを実感でき、「目的」により近づけたと感じられることが大切です。

(4) 『目的』は『行き先』、「目標」は「その過程」。『目的』は「目標」の先にある。

「目標」は『目的』に至るまでの道筋であり、過程です。一つの「目標」を達成したら、次の目標を定めて、更に先へと進みます。そのことにより『目的』に近づいていけるのです。

「目標」を達成していくことで、『目的』に近づくことが出来ます。ですから『目的』に向かって、明確な「目標」を立て、一つ一つクリアしていくことが大切です。

(5) 『目的』は『一つ』、「目標」は「複数」



『目的』に向かい、「目標」を定めて進んでいく中で、「目標」は一つとは限りません。能力や目標の大きさなどによって、大きな目標でドーンといっきに進む場合もあるでしょうし、小さな目標を複数設定し、コツコツと一歩一歩取り組み、達成していくこともあるでしょう。

(6) 「目標」はあきらめても、『目的』はあきらめない。



一つの目標を達成しても目的に近づけない場合もあります。別の目標を設定した方が良いこともあります。ゴールである「目的」を見据えて進むべき方向を修正したり、更新したりすることも必要です。



本校の子ども達、職員、共に「ビッグスマイル」「自分の笑顔、みんなの笑顔」をキャッチフレーズにいろいろな活動に取り組んでいます。それぞれが『目的』『目標』を意識して活動できるよう指導していきます。

本校の教育活動の目的は『子ども達の自立。自己実現』です。大きく高い山に向かって取り組んでいます。